

操縦学総合演習2

科目ナンバー 2E211
HPC 選択 1単位

今井 道夫

1. 授業の概要(ねらい)

空中操作、基本的な計器による飛行及び野外航法の実施要領等について学び、さらに操縦法の再確認及び改善点等を学びます。

自家用操縦士実地口述試験のための基礎的知識を学びます。この授業は主に実習形式で行います。ディプロマポリシーDP2・4・5に関連する科目です。

2. 授業の到達目標

操縦実習科目の内容を理解し、操縦実習がスムーズにできるように飛行前後のブリーフィングを受け、実習訓練の技量の修得向上ができる。

実地試験受験のための基礎的知識を修得できる。

3. 成績評価の方法および基準

模擬問題の成績(80%)、取り組み姿勢(能動的に問題解決できるか否か)(20%)で評価します。

模擬問題の解答内容に応じて解答の解説をします。

4. 教科書・参考文献

教科書

操縦教本

ALP

航法計画と飛行要領 ALP

航空法 鳳文書林出版販売 ISBN978-4-89279-545-9

AIM-j 日本航空機操縦士協会 ISBN978-4-931160-02-6

飛行規程

5. 準備学修の内容

予習として、事業用操縦士実地試験の科目の実施要領 及びその科目を行うために必要な詳細な知識について、ノートにまとめておくこと(1.5時間)。復習として、この授業と操縦実習に関連させて整理し、毎回ノートにまとめること(1.5時間)。

6. その他履修上の注意事項

授業は下妻ヘリポートで行います。

7. 授業内容

- 【第1回】 空中操作、基本的計器による飛行実施要領
- 【第2回】 飛行空域、飛行計画作成要領
- 【第3回】 航法計画作成要領
- 【第4回】 航法計画作成要領演練
- 【第5回】 航法実施要領
- 【第6回】 航法実施要領演練
- 【第7回】 航法生地離着陸要領
- 【第8回】 操縦法および改善点(ホバリング、場周飛行)
- 【第9回】 操縦法および改善点(空中操作)
- 【第10回】 操縦法および改善点(基本計器飛行、緊急操作)
- 【第11回】 実地試験のための航空法(口述試験対策)
- 【第12回】 実地試験のための空域と管制業務(口述試験対策)
- 【第13回】 実地試験のための気象・航空情報(口述試験対策)
- 【第14回】 実地試験のためのR22システム(口述試験対策)
- 【第15回】 実地試験のための飛行規程(口述試験対策)